



夢風

YUMEKAZE

第79号（平成27年度 No. 5）

だんだんと秋が深まり、木々も色づいてきました。生徒は毎日の授業や部活動だけでなく、数多くある行事においても才能を発揮し、体験を通して学び、成長する日々を過ごしています。10月は生徒自身が東高校の魅力を体験する行事、発信する行事がありました。今回は、修学旅行と魅力発見フェスタを中心にお知らせします。

—豊田東高校は、ユネスコスクールに加盟し、ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。—

☂ 「夢風」はWeb ページでも発信しています。

→ <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



● 修学旅行

2年生は、3泊4日（10月12日（月）～15日（木））の日程で修学旅行（マレーシア）に行ってきました。昨年度と同様に、チェラス中等学校交流、市内見学、現地学生との交流（B&Sプログラム）を行いました。その中で、多くの生徒の印象に残っているチェラス中等学校との交流について紹介します。

例年、歓迎式典は体育館で行われますが、今年はチェラス校で試験が行われており、体育館もその試験会場として使われるため、中庭にテントを設営して歓迎式典が行われました。チェラス校では、熱烈な歓迎から始まり、マレーシアの民族舞踊や楽器演奏などが披露されました。本校からは、日本の伝統文化ということで2年3組磯村さんと、2年6組飯塚さんが和太鼓の演奏を行いました。記念品の交換では「折り紙・千代紙」と「折り紙の本」を贈呈し、8回生全員で作った「千羽鶴」を贈りました。その後、本校生徒の合唱として、「let it go」と「上を向いて歩こう」を歌いました。どちらの曲もマレーシアでもポピュラーな曲のようで、チェラス校の生徒も加わり大合唱となりました。



KLCC



中庭で行われた歓迎式典

歓迎式典に続き、各班での交流を終えて再び中庭に集合し、本校有志生徒による「おいでん」を披露しました。しばらくすると踊りに加わるチェラス校生徒も出てきて、より交流を深めることができたようでした。

初めは熱烈な歓迎ぶりに驚いていた本校の生徒達が、チェラス校の生徒の気持ちに応えるように積極的に交流を深めていった姿が印象的でした。多くの生徒が「楽しかった」「もっと一緒にいたかった」と感想を書いていたところからも、生徒達の満足度が高いものだったことが伺えます。

チェラス校との交流はもちろん、修学旅行での経験を通して得たことをこれからの学校生活にいかしていけると考えています。



リズムカルに和太鼓演奏を披露



チェラス校の生徒と共に合唱する生徒たち



● 魅力発見フェスタ

10月25日(日)、スカイホール豊田(豊田市総合体育館)において魅力発見フェスタ 2015 が行われました。豊田、三好地区の中学生を対象に市内にある県立学校の魅力を知ってもらうもので、豊田東高校も参加しました。

15分間のステージ発表では、まず豊田東高校の特徴である11のプランについて説明し、その後、プランを代表して4つのプランで学ぶ生徒がそれぞれ説明をしました。美術プランは素描や油絵、デザインの作品をスライドに映しながら授業の内容を説明しました。音楽プランはカリキュラムの説明とともに作詞作曲したオリジナルソングも披露しました。ビジネスプランは就職の話も含めて中学生にはなじみの薄い簿記や会計、マーケティングについて説明をしました。外国語プランは会話形式で英語や中国語を使って、外国語プランの魅力について説明しました。総合学科についての理解を深めて頂けたと思います。そして、制服ファッションショーでは本校生徒による軽妙なアナウンスによって生き生きとした学校生活が伝わる発表となりました。

豊田東高校のブースでは多くの中学生や保護者の方が相談に訪れました。東高校で学ぶことで夢の実現にどれだけ近づけるのか真剣な眼差しで相談する姿がとても印象に残りました。また、豊田東高校の生徒も笑顔で学校案内を配ったり、スライドを前に熱弁を振るったり、学校紹介パネルを前に丁寧に説明したりするなど大活躍でした。

今回の魅力発見フェスタでは、学校紹介に参加した生徒にとっても豊田東高校の魅力を再発見する機会となり、自身の夢を今一度、新鮮な気持ちで抱くことができました。豊田東高校の魅力を存分に発揮できた催しとなりました。



多くの中学生が豊田東高校のブースに相談に訪れました。



ステージ発表では、工夫を凝らして各プランの特徴を説明しました。